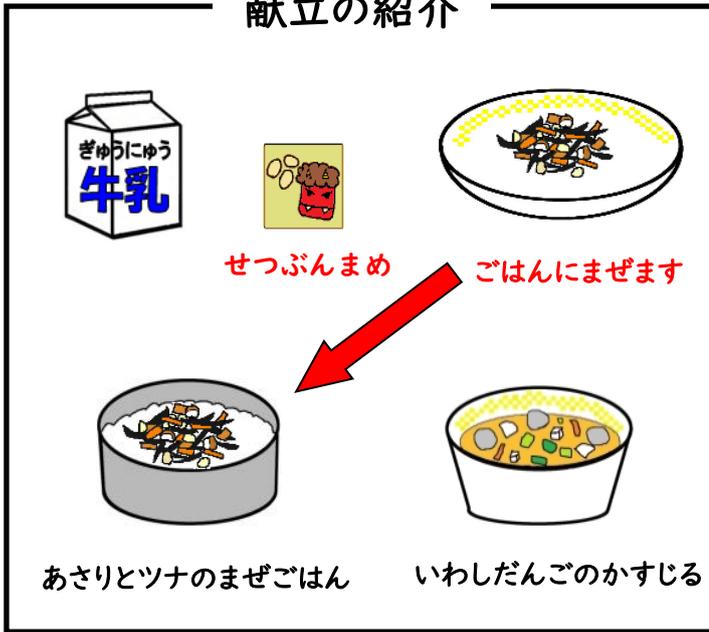


がつ か げつ  
—2月3日(月) は、**「行事食 節分」** こんだて 献立です—

こんだて しょうかい  
**献立の紹介**



せつぶん りっしゅん ぜんじつ  
節分は、立春の前日のこと  
「季節を分ける」という意味がありま  
す。めいじじだいのはじめの頃まで使わ  
れていた旧暦の場合、立春が一年  
の始まりとされ、大切な行事でした。  
せつぶん おに み た わざわ  
節分では、鬼に見立てた災いや  
びょうき お ふう よ  
病気を追いはらい、福を呼ぶために  
まめ  
豆まきをします。

れいわ ねん りっしゅん がつ か せつぶん がつ か  
令和7年は「立春」が2月3日なので、「節分」は2月2日です。  
げんざい こくりつてんもんだい かんそく りっしゅん き  
現在は、国立天文台の観測により「立春」が決められています。



**「ひいらぎいわし」**



せつぶん  
節分には「ひいらぎの枝」に「いわしの  
あたま  
頭」をさしたものを家の軒下などに飾る  
ふうしゅう  
風習があります。これは「ひいらぎいわ  
し」といって、鬼を追いはらう魔よけのお  
まじないです。むかし ひと  
昔の人は、ひいらぎのトゲ  
やいわしにおいては、鬼が苦手だと考え  
ていました。このことにちなんで、きゅうしょく  
給食では、いわし団子の粕汁を取り入れていま  
す。さけかす ふうみ だんご  
酒粕の風味で、いわし団子をおいしく  
た くふう  
食べる工夫をしています。

まめ  
**「豆まき」**



むかし ひと おに そと ふく うち  
昔の人は「鬼は外! 福は内!」のか  
け声とともに、まめ  
豆まきをすると、おに お  
鬼を追いはらい、ふく よ こ かんが  
福を呼び込むと考えていま  
した。おに わざわ びょうき  
鬼というのは、災いや病気をあらわ  
しています。また、まめ い だいず  
豆まきの炒り大豆を  
ふくまめ よ た けんこう  
「福豆」などと呼んで食べることで、健康  
ぶ じ ねが  
と無事を願います。



きゅうしょく せつぶんまめ た  
給食の節分豆を食べて  
ことしひとねん げんき す  
今年一年も元気に過ごしま  
しょう。